

平成15年4月11日

各 位

会社名 株式会社 伊勢丹  
代表者名 代表取締役社長執行役員  
武藤 信一  
(コード番号 8238 東証第一部)  
問合せ先 広報・I R担当長  
飯田 浩  
(TEL 03-3352-1111)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、昨年11月18日の中間決算発表時に公表した平成15年3月期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	437,000	12,000	7,000
今回修正予想 ( B )	434,500	12,000	4,000
増減額 ( B - A )	2,500	-	3,000
増減率 ( % )	0.6	-	42.9
(ご参考) 前期実績(平成14年3月期)	440,599	14,948 (112.1%)	11,162 ( - )

(金額の単位：百万円)

#### 2. 当期の連結業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	609,000	18,000	11,000
今回修正予想 ( B )	603,000	16,500	7,300
増減額 ( B - A )	6,000	1,500	3,700
増減率 ( % )	1.0	8.3	33.6
(ご参考) 前期実績(平成14年3月期)	615,670	21,690 (110.0%)	12,513 ( - )

(金額の単位：百万円)

### 3. 修正の理由

#### (単体)

長引く個人消費の低迷により、売上高は前回の発表予想を約25億円下回りますが、経費構造の見直しに努めました結果、予想を上回る販売費及び一般管理費の減少となり、経常利益はほぼ予想どおりとなりました。

しかしながら、金融株を中心とした株価の下落による投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損を計上したことに伴い、当期純利益額は大幅に減少したため、業績予想の修正を行います。

#### (連結)

単体同様に売上高は前回の発表予想を約60億円下回りました。その結果、経費削減や様々な営業施策の取組みに努めましたが、経常利益は約15億円の減少と予想を下回る結果となりました。

また、株価の大幅な下落による投資有価証券評価損を計上したことに伴い、当期純利益額は大幅に減少したため、業績予想の修正を行います。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は予想数値と異なる可能性があることをお含みおき願います。